

荒川流域エコネット地域づくりアクションプラン 取り組みの推進について

—令和4年度の活動計画（案）—

1. プラン①「合同生きもの調査の実施」に関する本年度活動計画
2. プラン②「ゴミ・外来種問題への対応」に関する本年度活動計画
3. プラン③「環境学習・観察会の推進支援」に関する本年度活動計画
4. プラン④「各種広報の展開」に関する本年度活動計画
5. プラン⑤「エコツアーの推進支援」に関する本年度活動計画
6. プラン⑥「関係者間のネットワーク支援」に関する本年度活動計画
7. 本年度の活動スケジュール（案）

1. プラン①「合同生きもの調査の実施」に関する本年度活動計画 ～生物の生息場環境保全に関するプラン～

(1) 目指すもの

プラン①「合同生きもの調査の実施」

- ◎エリア内の環境データが蓄積され、各種取り組みの検討・実施に役立っていること。
- ◎また、調査の実施を通じ、取り組み認知度が向上（理解者・賛同者の増加）していること。



(2) 昨年度の活動結果概要（令和3年度）

①協議会関係者による調査実施状況の把握（情報収集）

WG関係者を対象に情報提供をお願いし、エリア内における生物調査の実施状況を把握した。

(R3 協議会関係者による主な生物調査の実施状況)

- 鴻巣市：動植物調査、河川・水田の生きもの調査
- 北本市：高尾カタクリ自生地調査（4～7月）
- 埼玉県環境科学国際センター：クビアカツヤカミキリ発見大調査2021（確認情報の収集）
- 荒川上流河川事務所：河川水辺の国勢調査（基図調査）、各種事業モニタリング調査

②生きもの調査体験会（試行）

感染症拡散防止に配慮しWG関係者を対象に「生きもの調査体験会（水田～河川）」を実施し、今後の活動に向けて意見交換を行った。また、今後の取り組みに活かすため、地域関係者による現地活動（北本市緑のトラスト保全第8号地の営農活動、鴻巣市吹上・小谷地区の環境保全型農業）を取材した。

(R3 生きもの調査体験会の開催状況)

- 日 時：令和3年7月20日（火）9:30～12:00
- 参加者：本推進協議会・WG関係者 約25名
- 場 所：鴻巣市コウノトリ野生復帰センター～吹上地区水田～荒川大間地区（荒川流域ネットワーク川島委員、鴻巣市のご協力による）
- 当日観察できた生物の例
（水田）コイ、ギンブナ、ドジョウ、ミナミメダカ、ヨシノボリ類、ミズカマキリ、コガムシ、ヒメガムシ など / （河川・水路）ナマズ、コイ、ギンブナ、タモロコ、ツチフキ、オイカワ、アブラハヤ、ドジョウ、タイリクバラナタゴ、モツゴ、トウヨシノボリ類、ブルーギル、ミシシippアカミミガメ など



R3 生きもの調査体験会の開催状況（左：水田調査／中：河川調査／右：採捕したドジョウ）

(3) 本年度の活動計画案（令和4年度）

1) 協議会関係者による調査情報の収集・整理

- 本年度の生物調査に関する情報の収集・整理
- これまでの生物調査結果データの収集
- 荒川流域エリア（5市町内）における生物データの収集・整理（事務局によるデータベース化の検討）

2) 合同生きもの調査の推進

① 生きもの調査体験会の開催（参加者公募中）

昨年度とほぼ同程度の箇所・企画内容で、本年度は参加者公募型（エリア内の親子を想定）で開催することとして、NPO法人 荒川流域ネットワーク・鴻巣市と連携して準備中。

- 7月26日（火） ●1日2回制（1回2時間程度） ●定員各回20人程度（感染症拡散防止に配慮して少人数） ●各市町の窓口・施設・行事でのチラシ配布により参加者募集

■生きもの調査体験会 プログラム案（およそ2時間）

項目	内容	場所
①環境学習	●エコロジカル・ネットワークについて	天空の里（屋内）
②水田調査体験	●環境保全型農業について ●水田の動物量調査体験と水田生物の観察	吹上地区水田
③コウノトリ学習	●コウノトリ野生復帰センターとコウノトリについて	天空の里（屋内）
③河川調査体験	●荒川における湿地づくりについて ●河川の魚類調査体験と連続性指標種の解説	天空の里（屋外）
④クラフト体験	●コウノトリグッズの作成	天空の里（屋内）

② 水田の動物量調査の普及検討

- 水田調査を実施させていただける場所探し
- 水田の動物量調査を実施されたい方への支援（事務局より、体験会チラシで呼びかけ、要望にあわせて機材貸し出し等を行う）

【手引きPDF】

【解説動画】

(田んぼの動物量調査について)

- ・関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会で普及している調査方法で、兵庫県や福井県でも実施されている手法です。田んぼの生きものの豊かさ（種類や量）を調べるものです。
- ・水田の「水域（水際）」と「陸域（畔上）」で動物を採捕して記録します。農業や水田生物へ影響がないよう、水田のなかには入らず、イネに触れず、記録後の動物は再放流します。

3) 取り組み評価軸の検討

取り組み評価（中間2025年・目標2030年）に向けて、評価の目安や、今後の取り組み方針について検討する。（以下はイメージ）

【評価軸（案）】

- 調査体験会の実施回数・参加者数
- 蓄積された調査結果データおよびその活用状況
- 取り組みの認知度（アンケート調査 ※p4参照）...など

2. プラン②「ゴミ・外来種問題への対応」に関する本年度活動計画 ～生物の生息場環境保全に関するプラン～

(1) 目指すもの

プラン②「ゴミ・外来種問題への対応」

◎エリア内において、環境美化活動とともに、外来種駆除活動が実施（実施回数・場所の増加）されるようになること。



(2) 昨年度の活動結果概要（令和3年度）

①協議会関係者による対策状況の把握（情報収集）

WG関係者を対象に情報提供をお願いし、エリア内における清掃活動・外来種対策の実施状況を把握するとともに、事務局で一部の活動に参加するなどし、今後の取り組み推進に向けた意見交換を図った。

（R3 協議会関係者による主な清掃活動・外来種対策の実施状況）※中止を含む

- 河川清掃： 荒川クリーン活動（11月）、市野川クリーンアップ作成（11月）、安藤川クリーン作戦（11月）、越辺川河川清掃（11月）、元荒川清掃（3月・6月・9月）、元荒川ウォークごみ拾い（11月）、コスモス清掃（11月）、綾瀬川クリーン活動（9月）…など
- 市内・町内清掃： 春ごろ、秋ごろに随時
- 外来種対策： 吉見町スクミリンゴガイ駆除作業（8月）、オオキンケイギクなどの外来植物駆除の呼びかけ（随時）…など



吉見町 スクミリンゴガイ駆除活動



川島町 越辺川清掃活動（意見交換）



桶川市 荒川クリーン活動

②ゴミ・外来種対策の連携実施に関する検討

清掃活動時など地域に広く配布することで荒川流域エリアの外来種問題について啓発することを目的とした以下の資料を作成した。



外来種問題啓発チラシ



オオキンケイギク駆除手法解説チラシ

(3) 本年度の活動計画案（令和4年度）

1) ごみ・外来種対策の連携促進のための対策実施

- 本年度の清掃活動・外来種対策に関する情報の収集・整理
- 外来種に関する啓発用資料の配布
各市・各団体で実施される清掃活動や外来種駆除活動時に、外来種啓発用資料（R3作成）を配布する。また、一部、可能な行事へは事務局が参加し、外来種の見分け方や駆除方法について紹介する。

【ごみ・外来種対策の連携促進の実施状況（R4.7.1時点）】

- 春期実施状況**
- 北本市：5～6月 春の美化活動（各自治会）における外来種チラシ配布〔2種・計200部〕
 - 鴻巣市：6月 市民団体清掃（榎戸堰公園）における外来種チラシ配布〔2種・計100部〕
 - 吉見町：6月 地球温暖化防止パネル展2022（ぷらっとよしみ）におけるエコネットパネル展示、および外来種チラシ配布〔2種・計240部〕（右写真上側）
 - 吉見町：6月 協働清掃企画「よしみGK作戦（吉見町道の駅周辺）」におけるノベルティ指標種缶バッジ、および外来種チラシ配布〔2種・計100部〕（右写真下側）



吉見町地球温暖化防止パネル展2022



清掃活動「よしみGK作戦」

秋予定

- 桶川市：秋季 荒川クリーン活動（予定）…など



2) ごみ・外来種対策の連携促進するための方策検討

荒川流域エリアにおいて、今後、ごみ・外来種対策の連携促進をさらに効果的に進めていくための方策について検討する。

【事務局案】

- 外来種啓発用資料の追加作成： アレチウリ駆除手法の紹介チラシ、スクミリンゴガイの見分け方資料を作成する…など
- 外来種駆除活動実施に向けた検討： 駆除活動を実施する場合の、場所・対象種・作業内容、および対策費用の確保（各種の基金・助成金等）について検討する…など
- プラスチックごみ問題の啓発検討： プラごみ問題啓発のためのチラシ、イベント企画について検討する…など

【ごみ・外来種対策への支援事例（インターネット検索等）】

- 効果的な外来種駆除手法のマニュアルの作成・公開、および駆除活動の開催
- 外来種対策等の河川環境保全活動を支援する基金の設立（右：天竜川応援基金の例） 出典 <https://hamamatsu-iwata.jp/about/community/zaidan/tenryu/>
- プラスチックごみ問題を啓発するイベントの開催（砂のなかのマイクロプラスチック探し、ごみ活用アートの作成等）



3) 取り組み評価軸の検討

取り組み評価（中間2025年・目標2030年）に向けて、評価の目安や、今後の取り組み方針について検討する。（以下はイメージ）

【評価軸（案）】

- 外来種啓発用チラシの活用状況（配布行事数、配布枚数）
- 地域で実施されたごみ・外来種対策状況（場所、回数、対象外来種、駆除量等）

4. プラン④「各種広報の展開」に関する本年度活動計画 ～地域振興・経済活性化に関するプラン～

(1) 目指すもの

プラン④「各種広報の展開」

◎エリア内において、取り組み認知度が向上し、荒川流域エコネット地域づくりへの新たな理解者・賛同者・参加者が増えていること。



(2) 昨年度の活動結果概要（令和3年度）

①各自治体・団体のイベント情報の収集・整理

各自治体が独自で実施している環境関連のイベントや拠点等について情報を収集・整理した。

自治体	PRしたい環境関連イベントや拠点	作成したPR資料を展示できる施設
鴻巣市	●鴻巣市コウノトリ野生復帰センター	●鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
桶川市	●ホタル翔ぶゆうべ(毎年6月開催市後援(令和3年度中止))	●市庁舎および関連教育施設等
吉見町	—	●道の駅いちごの里よしみ ●フレサよしみ・図書交流館 ●フレンドシップハイソよしみ ●吉見総合運動公園 ●吉見百穴・埋蔵文化財センター ●各公民館・ふれあいセンター、各小学校・中学校

※R3年度第1回行政担当者会議後のアンケート結果を整理

②本取り組みPR資料の作成

- ・アクションプランについての広報用デジタルサイネージ動画、及びパネルの製作を行った。
- ・推進協議会ロゴマーク4案を作成し、一般人気投票（各自治体・団体等の施設にパネル設置）を実施。投票結果から推進協議会ロゴマーク（2種）が決定した。



広報用デジタルサイネージ動画
(全5タイプ作成)



広報用写真パネル原稿
(全15枚作成)



推進協議会ロゴマーク
(投票結果から2種決定)

③流域内外の環境イベントでのPR検討

②で作成したPR資料を活用し、流域内の複合店舗にて広報展示を行った。複合店舗での展示は、今後も継続的に実施予定。

⇒R3年度は緊急事態宣言の発出期間が長かったため、各自治体・団体の環境イベントは中止・延期となり、PR展示は実施しなかった。

(3) 本年度の活動計画案（令和4年度）

1) 作成した広報資料（動画・パネル）の活用

①各市・団体の拠点施設、イベントでの展示の継続

各市・団体の拠点施設やイベント（展示会等）でのデジタルサイネージ動画の放映、広報用写真パネル原稿、ニュースレター発行（適宜更新）等を活用した展示および支援を引き続き行う。



吉見町役場でのデジタルサイネージ動画の放映状況（R3年11月撮影）

②広報資料データ共有・配布方策の検討

作成したチラシ等のデータをHPからダウンロードできるシステムを構築（ファイル共有プラットフォームの利用を想定）するなど、広報資料を広く活用していただくための方策について検討する。

2) 推進協議会ロゴマークの活用

今後作成する各種資料へ推進協議会ロゴマークを掲載し、資料の統一感を出すことに加え、多くの方へ推進協議会の印象づけをしていくために活用を行う。

3) エコネットに関する情報発信と荒川流域住民アンケート調査

- ・荒川流域住民を対象としたアンケートを実施し、推進協議会の認知度や、有効な情報発信方法等について調査を行い、今後の取り組み評価軸設定の指標にする。
- ・アンケート方法は紙媒体を用いる他、WEBアンケート様式の活用も検討する。

荒川流域住民アンケート調査内容（案）

項目	内容	整理方針
属性	年齢、居住地等	—
基本情報	①近年、関東でコウノトリが飛んでいることを知っているか ②荒川の生きもの・環境を調べたことはあるか	コウノトリや荒川の自然環境への興味・関心の度合いを参考情報として整理。
認知度の確認	①推進協議会を知っているか ②広報資料やロゴマークを見たことがあるか ③知っている取り組み内容はあるか(※) ④活動に参加したことはあるか(※)	推進協議会の現状の認知度を把握し、今後の活動の結果における認知度の推移を取り組み評価基準のひとつとして整理する。
関心度の確認	①参加してみたい推進協議会の活動はあるか ②推進協議会から発信してほしい情報はあるか ③推進協議会からの情報発信方法(SNS等)の要望	荒川流域住民の興味・関心を把握し、PRに有効なアプローチ方法や、情報発信方法・ツールの検討材料として整理する。
その他	(実施場所やイベント内容に合わせた設問)	—

※R3年度はコロナ禍の影響により一般向けイベント等を積極的に実施できなかったため、今後追加していく設問とする

3) 取り組み評価軸の検討

取り組み評価（中間2025年・目標2030年）に向けて、評価の目安や、今後の取り組み方針について検討する。（以下はイメージ）

【評価軸（案）】 ●作成資料の配布・展示数 / ●ロゴマークを活用した広報資料数 / ●推進協議会の認知度（アンケート調査） / ●アンケート回収数

5. プラン⑤「エコツアーの推進支援」に関する本年度活動計画 ～地域振興・経済活性化に関するプラン～

(1) 目指すもの

プラン⑤「エコツアーの推進支援」

◎エリア内において、自然環境を活用した地域観光が実施されていること（新たな集客要素の提供による地域活性化への貢献）。



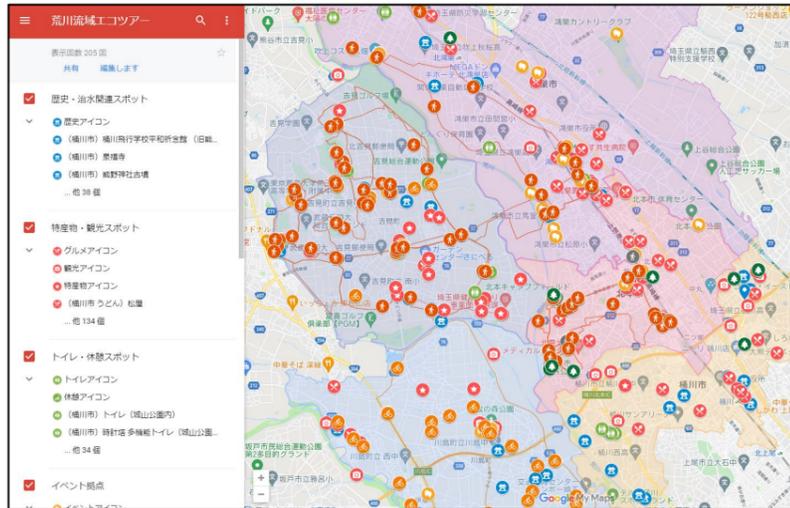
(2) 昨年度の活動結果概要（令和3年度）

①流域共通マップの作成検討

各自治体の観光スポット、サイクリング・ウォーキングコース等、各自治体の観光情報を集約した流域共通マップ（Googleマイマップ）のデータベース版を作成した。

②川の営みに関連する特産品・歴史情報の収集・整理

各自治体の特産品や治水関連スポット等の情報を収集整理した。整理結果は①流域共通マップ作成に活用した。



作成した流域共通マップ（Googleマイマップ）データベース版

- :歴史・治水関連スポット
🏠:歴史・治水関連スポット
- :特産物・観光スポット
★:特産物 📷:観光スポット 🍴:食事処
- :トイレ・休憩スポット
🚻:トイレ 🌿:休憩スポット
- :イベント拠点
📍:イベント拠点
- :サイクリングルート
🚲:サイクリングルート 🚶:遊歩道
🚲:立寄りスポット 🚶:立寄りスポット
- :巨木
🌳:巨木

③各自治体の観光メニューと、荒川流域エコネットの関連付けによる取り組み支援

- ・流域内複合店舗（アリオ上尾）とコラボした広報展示・ワークショップを企画・運営を行った。
- ・観光情報等を収集すべき観光関連部署・団体について各自治体へのアンケートにより情報収集を行った。



複合店舗での広報展示とワークショップ実施状況

自治体	各自治体情報提供の観光関連部署・団体
鴻巣市	●一般財団法人鴻巣市観光協会
桶川市	●桶川飛行学校平和祈念館 ●べに花ふるさと館 ●ソーラーオンザウォーター桶川(桶川市環境課)
北本市	●北本市観光協会
吉見町	●産業振興課

※R3年度第1回行政担当者会議後のアンケート結果を整理

(3) 本年度の活動計画案（令和4年度）

1) 流域共通マップ（Googleマイマップ）の共有と活用方策検討

流域共通マップの関係者間での共有による使用感の確認、及び情報の追加や活用方法等に関する意見交換（アンケートやヒアリング実施も検討）結果から、適宜反映を行う。

2) 観光振興に関する告知情報や結果広報の共有

- ・各自治体・団体等で実施される観光振興の取り組みについて、告知情報や結果広報の情報共有を行う他、Web・SNS等からの情報を自動収集整理などデジタル技術を活用した作業効率化についても検討する。
- ・今後の新型コロナウイルス感染拡大状況の動向を踏まえながら、関係機関ヒアリングの実施に向けた検討を行う。

3) 取り組み評価軸の検討

取り組み評価（中間2025年・目標2030年）に向けて、評価の目安や、今後の取り組み方針について検討する。（以下はイメージ）

【評価軸（案）】 ●流域共通マップ活用状況 / ●各自治体・団体等の観光振興状況

6. プラン⑥「関係者間のネットワーク支援」に関する本年度活動計画 ～地域振興・経済活性化に関するプラン～

(1) 目指すもの

プラン⑥「関係者間のネットワーク支援」

◎エリア内において、自然環境・地域振興に取り組む地域関係者間の新たな連携・交流が図られ、各自の取り組み発展に寄与していること。



(2) 昨年度の活動結果概要（令和3年度）

プラン⑤の流域共通マップ（データベース版）を関係者間の情報共有ツールとして、今後活用していくこととした。

(3) 本年度の活動計画案（令和4年度）

1) SNSを介した活動情報収集

他団体や一般の活動に関する情報をWeb・SNS等から収集・整理する。

2) 関係者間のネットワーク支援の推進

関係者間が互いの活動情報等を把握しやすくするなど、ネットワーク支援を推進するためのツールや方策を検討する。

3) 取り組み評価軸の検討

取り組み評価（中間2025年・目標2030年）に向けて、評価の目安や、今後の取り組み方針について検討する。（以下はイメージ）

【評価軸（案）】 関係者間の連携・交流状況（合同会議・イベント回数等）

7. 令和4年度の活動スケジュール（案）

項目	プラン	役割	R4年									R5年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生物の生息環境保全	① 合同生きもの調査の実施	各団体市町等	各団体・市町における生物調査（随時）											
	事務局	情報提供（随時）	情報収集 事前調整等	活動参加（随時）	調査体験会	開催案内	参加・協力	結果報告（資料等提供）	開催結果PR	協力（広報掲載・資料配布等）	結果まとめ	次年度計画案検討	参加・協力 依頼	次年度活動の相談・調整（WG・協議会等）
	事務局	情報提供（随時）	情報収集 事前調整等	取材（データ収集）	取材（資料配布）	取材（資料配布）								
生物の生息環境保全	② ゴミ・外来種問題への対応	各団体市町等	各市町 清掃活動（春期）											
	事務局	情報提供（随時）	情報収集 事前調整等	活動参加	対策検討（資料・体験企画の作成等）	活動参加	活動参加							
	事務局	情報提供（随時）	情報収集 事前調整等	取材（資料配布）	取材（資料配布）									
生物の生息環境保全	③ 環境学習・観察会の推進支援	各団体市町等	各団体・市町における環境学習・観察会等の実施（随時）											
	事務局	情報提供（随時）	情報収集 事前調整等	開催案内・結果広報の情報共有／支援方策の検討・実施（随時）	情報共有（事務局を介した関係者情報の配信）	情報共有（事務局を介した関係者情報の配信）								
	事務局	情報提供（随時）	情報収集 事前調整等	取材（資料配布等）	取材（資料配布等）									
地域振興・経済活性化	④ 各種広報の展開	各団体等	情報提供・調整協力											
	事務局	情報提供（随時）	情報収集・調整（アンケート、情報共有方法、PR資料掲出先等）	アンケート・PR資料修正	アンケート実施・PR資料掲出	アンケート実施・PR資料掲出								
	事務局	情報提供（随時）	情報収集・調整（アンケート、情報共有方法、PR資料掲出先等）	アンケート・PR資料修正	アンケート実施・PR資料掲出	アンケート実施・PR資料掲出								
地域振興・経済活性化	⑤ エコツアーの推進支援	各団体等	マップ共有											
	事務局	マップ共有	流域共通マップ活用方法検討	観光関連ヒアリング対象検討	観光メニュー検討・調整	観光メニュー検討・調整								
	事務局	マップ共有	流域共通マップ活用方法検討	観光関連ヒアリング対象検討	観光メニュー検討・調整	観光メニュー検討・調整								
地域振興・経済活性化	⑥ 関係者間のネットワーク支援	各団体等	情報提供											
	事務局	情報提供	情報共有プラットフォームの検討、人材の交流等に関する情報収集・調整（随時）											
	事務局	情報提供	情報共有プラットフォームの検討、人材の交流等に関する情報収集・調整（随時）											
会議	推進協議会												第4回 推進協議会	
	エリアWG				エリアWG								エリアWG	